

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
子ども英語概論		成田 恵子		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
<p>子どもの言語習得について学ぶ。主に第1言語（母語）と第2言語習得のメカニズムを対比し、言語習得の類似性と異質性についても学ぶ。さらに、第2言語習得を可能にしている現象、プロセス、習得を促進している要因、学習と指導のメカニズムといった様々な観点から外国語教育への応用の手法を探る。</p>					
[授業の内容]					
<p>■第1言語（母語）習得理論① ②言語習得と言語学習 ③幼児の言語の特質</p> <p>■第2言語習得理論 ④第2言語習得モデル ⑤第1言語習得と第2言語習得の比較</p> <p>■早期外国語教育論 ⑥脳の発達と外国語学習 ⑦外国語学習開始最適時期</p>			<p>■バイリンガルの言語習得⑧ ■教室第2言語習得研究と外国語教育⑨ 教室指導方法⑩</p> <p>■早期英語教育と小学校英語教育⑪ EU諸国の外国語教育⑫ アジア諸国の外国語教育⑬</p> <p>■第2言語習得研究の計画と方法⑭ ■まとめ⑮</p>		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
・小池生夫「第二言語習得研究の現在」大修館書店			①課題提出 ②平常点（出席状況、授業態度）を総合的に評価する。		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
子ども英語指導法		福士 洋子		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
<p>この授業では、主に幼児・児童に英語を指導する際に必要な基本的な指導法を絵本や歌などの教材を使って学ぶ。また、J-shineの小学校英語指導者の登録制度を含む小学校英語必修化までの歴史的経緯を概観する。</p>					
[授業の内容]					
<p>1. 授業概要及び子ども英語の現状について 2. 小学校英語指導者の登録制度などについて 3. 絵本・紙芝居を使った指導法① 4. 絵本・紙芝居を使った指導法② 5. 絵本・紙芝居を使ったデモンストレーション 6. 歌を使った指導法① 7. 歌を使った指導法②</p>			<p>8. 歌を使ったデモンストレーション 9. ゲームを使った指導法 10. クラスルーム・イングリッシュを使った指導法 11. フォニックスを使った指導法 12. レッスンプランの立て方① 13. レッスンプランの立て方② 14. 模擬授業① 15. 模擬授業②</p>		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
児童英語教育を学ぶ人のために（世界思想社）			1. 模擬授業（発表） 2. 絵本・紙芝居のデモンストレーション（発表） 3. 出席状況及び授業態度		

授業のタイトル (科目名)		授業担当者		学科	年次
オーラル・イングリッシュⅠ		C. フィッツパトリック		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
Students will acquire basic skills in communication and will have gained confidence to begin to understand and express themselves communicatively in English. Their English vocabulary will have also increased considerably.					
[授業の内容]					
1. 授業概要及び評価点の説明		9. Work			
2. Getting Acquainted		10. Health			
3. Experiences		11. Love & Marriage			
4. Sport and Leisure		12. Music & Books			
5. Shopping & Money		13. Culture & Places in Japan			
6. Food		14. Work Problems			
7. Travel		15. まとめ			
8. 中間試験					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
'Let's Chat' By John Pak EFL Press 'Expressions' by David Nunan Thomson Heinle			①出席率及び授業態度、②中間試験、期末試験		

授業のタイトル (科目名)		授業担当者		学科	年次
オーラル・イングリッシュⅡ		C. フィッツパトリック		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	後期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
Students will have acquired higher skills in communication and will have gained confidence to further understand and express themselves communicatively in English. Their English vocabulary and pronunciation will have also continued to increase.					
[授業の内容]					
1. 授業概要及び評価点の説明		9. Inviting			
2. Family		10. Gift giving			
3. Descriptions		11. Hospitality			
4. Paying for goods		12. Jobs			
5. Narrating a sequence		13. Hotel locations			
6. Ordering food		14. Vacations			
7. Telling time		15. まとめ			
8. 中間まとめ					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
オーラル・イングリッシュⅠと同じテキストを使用			①出席率及び授業態度、②中間試験、期末試験		

授業のタイトル (科目名)		授業担当者		学科	年次
リーディングⅠ		福士洋子・江口真理		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	30回	60時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
英文を読むためのストラテジーを段階的に伸ばすための演習を行うとともに、英文読解の最も基礎的な力である語彙力増強のためのトレーニングを行う。また、主に環境問題をトピックとしたテキストの多読・精読により、日本語訳に頼った英文読解から脱却し、英文そのものを楽しむ力を伸ばすことを目的とする。					
[授業の内容]					
1. スキルアップテキスト①リーディング力診断		9. スキルアップテキスト⑤シカワード・指示語		10. 12. 14. 語彙力アップドリル、多読テキスト	
2. 語彙力アップドリル①、多読テキスト①		11. 13. 15. スキルアップテキスト			
3. スキルアップテキスト②プレリーディングスキル		16. 17. 中間試験			
4. 語彙力アップドリル②、多読テキスト②		18. 20. 22. 24. 26. 28. 語彙力アップドリル、多読テキスト			
5. スキルアップテキスト③概念の理解		19. 21. 23. 25. 27. スキルアップテキスト			
6. 語彙力アップドリル③、多読テキスト③		29. 30. 期末試験			
7. スキルアップテキスト④詳細情報の理解					
8. 語彙力アップドリル④、多読テキスト④					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
<i>Reader's Ark, DUO, Talk with Our Planet.</i>			DUO語彙力テスト(毎週)、中間、期末試験、出席等を総合的に評価する。		

授業のタイトル (科目名)		授業担当者		学科	年次
リーディングⅡ		福士洋子・江口真理		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	後期	30回	60時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
リーディングⅠに引き続き、英文を読むためのストラテジーを段階的に伸ばす演習を行うとともに、英文読解の最も基礎的な力である語彙力増強のためのトレーニングを行う。また、多読や様々な英文のパンフレットを読解することにより、日本語に頼った英文読解から脱却し、英文そのものを楽しむ力を伸ばすことを目的とする。					
[授業の内容]					
1. スキルアップテキスト①パラグラフ構造の把握		10. 12. 14. 語彙力アップドリル、多読テキスト			
2. 語彙力アップドリル①、多読テキスト①		11. 13. 15. スキルアップテキスト			
3. スキルアップテキスト②必要な情報の把握		16. 17. 中間試験			
4. 語彙力アップドリル②、多読テキスト②		18. 20. 22. 24. 26. 28. 語彙力アップドリル、多読テキスト			
5. スキルアップテキスト③場面状況の読み取り		19. 21. 23. 25. 27. スキルアップテキスト			
6. 語彙力アップドリル③、多読テキスト③		29. 30. 期末試験			
7. スキルアップテキスト④事実と意見の区別					
8. 語彙力アップドリル④、多読テキスト④					
9. スキルアップテキスト⑤批評読み・新聞					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
<i>Reader's Ark, DUO, Talk with Our Planet.</i>			DUO語彙力テスト(毎週)、中間、期末試験、出席等を総合的に評価する。		

授業のタイトル (科目名)		授業担当者		学科	年次
文法&ライティング		江口・C. フィッツパトリック		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	通年	30回	60時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
前期に文法、後期にライティング演習を行う。文法では、英文を読むために必要な文法知識を再確認し、演習問題を通じて読解力の基礎固めを行うとともに、日常生活で使われる英語表現についても学ぶ。ライティングでは、パラグラフおよびエッセイの構造を理解し、エッセイ・ライティングの演習を通じて論理的な英文を書くことを目標とする。					
[授業の内容]					
● 1～15回目：英文法の基礎演習を行う 1～4回目：基本文型・主語・動詞・形容詞・副詞 5～7回目：受動態・時制・進行形 8回目：中間試験 9～12回目：完了形（時制・進行形） 13～14回目：感嘆文・仮定法 15回目：期末試験			● 16回目から30回目：アカデミックライティングの基礎 16回目から20回目：パラグラフライティング 21回目から25回目：エッセイ/ライティングの基礎 26回目から30回目：エッセイライティングの仕上げ（5本）		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
In Plain English - Grammar for Reading他			①課題提出 ②中間・期末試験 ③平常点を総合的に評価する。		

授業のタイトル (科目名)		授業担当者		学科	年次
総合英語演習Ⅰ		成田恵子・江口真理		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	30回	60時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
1年次のリーディングⅠ、リーディングⅡで培ったリーディング力の基礎をもとに、様々なトピックを扱ったテキストを使用し、情報を受信したり、発信したりするために必要な力を養成する。また、コミュニケーションを前提としたReading, Writing, Listening, Speakingの4技能をバランスよく向上させることをねらいとする。同時に、語学学習の基本である語彙力の増強にも重点をおく。					
[授業の内容]					
1. スキルアップテキスト① 2. 語彙力アップドリル①、多読テキスト① 3. スキルアップテキスト② 4. 語彙力アップドリル②、多読テキスト② 5. スキルアップテキスト③ 6. 語彙力アップドリル③、多読テキスト③ 7. スキルアップテキスト④ 8. 語彙力アップドリル④、多読テキスト④ 9. スキルアップテキスト⑤			10. 12. 14. 語彙力アップドリル、多読テキスト 11. 13. 15. スキルアップテキスト 16. 17. 中間試験 18. 20. 22. 24. 26. 28. 語彙力アップドリル、多読テキスト 19. 21. 23. 25. 27. スキルアップテキスト 29. 30. 期末試験		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
Reader's Ark, DUO, Talk with Our Planet, Reading Forerunner.			DUO語彙力テスト（毎週）、中間、期末試験、出席等を総合的に評価する。		

授業のタイトル (科目名)		授業担当者		学科	年次
総合英語演習Ⅱ		成田恵子・江口真理		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	後期	30回	60時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
前期開講の総合英語Ⅱで培ったリーディング力の基礎をもとに、様々なトピックを扱ったテキストを使用し、情報を受信したり、発信したりするために必要な力をさらに高める。また、コミュニケーションを前提としたReading, Writing, Listening, Speakingの4技能をバランスよく向上させることをねらいとし、同時に、語学学習の基本である語彙力の増強にも重点をおく。					
[授業の内容]					
1. スキルアップテキスト①		10. 12. 14. 語彙力アップドリル、多読テキスト			
2. 語彙力アップドリル①、多読テキスト①		11. 13. 15 スキルアップテキスト			
3. スキルアップテキスト②		16. 17 中間試験			
4. 語彙力アップドリル②、多読テキスト②		18. 20. 22. 24. 26. 28 語彙力アップドリル、多読テキスト			
5. スキルアップテキスト③					
6. 語彙力アップドリル③、多読テキスト③		19. 21. 23. 25. 27. スキルアップテキスト			
7. スキルアップテキスト④		29. 30 期末試験			
8. 語彙力アップドリル④、多読テキスト④					
9. スキルアップテキスト⑤					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
<i>Reader's Ark, DUO, Talk with Our Planet, Reading Forerunner.</i>			DUO語彙力テスト(毎週)、中間、期末試験、出席等を総合的に評価する。		

授業のタイトル (科目名)		授業担当者		学科	年次
スピーチクリニック		G. フィッツパトリック		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	通年	30回	60時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
Students will gain skills and confidence to express themselves in English with good pronunciation and intonation by practicing various mediums of English speaking and expression. Listening skills of English will also be emphasized.					
[授業の内容]					
1. 授業概要及び評価点の説明		9. Sports and Games			
2. Getting to Know you		10. Vacation Time			
3. Making a Good Impression		11. The Environment			
4. Food and Cooking		12. News and Current Events			
5. Weather		13. Entertainment and Art			
6. Working for a Living		14. Comedy and Humor			
7. Leisure Time		15. まとめ			
8. 中間発表					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
Let's Talk 2' (2nd Ed) by Leo Jones, Cambridge University Press; 'Topic Talk'			①出席率及び授業態度、②レポートと発表		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
TOEIC英語演習Ⅰ		福士 洋子		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
この授業では、各自のTOEICスコアのレベルアップを目指して、基本的なレベルの問題からTOEICテストに頻出する問題まで段階的に練習する。また、必要に応じてオンライン教材を利用して、学習の達成度を確認する。					
[授業の内容]					
第1回 授業概要及びTOEICテストについて 第15回 まとめ					
第2回～第7回					
リスニング・リーディング対策問題（基本編） （語彙、語法、文法問題含む）					
第8回 模擬試験（実力チェック問題①）					
第9回～第14回					
リスニング・リーディング対策問題（応用編） （実際の試験を意識した問題を）					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
TOEIC BRIDGE (Advanced)			1. 試験（2回） 2. 出席状況及び受講態度		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
TOEIC英語演習Ⅱ		成田 恵子		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
この授業では、TOEIC演習Ⅰで身につけた基本的な英語力をさらにアップさせるために、より高度で実践的な問題に取り組む。また、本番の試験形式及び試験時間に慣れるために、TEOIC模擬試験を随時受験し、最終的に550点レベルのスコアを目指す。					
[授業の内容]					
第1回 授業概要（評価の観点含む）の説明 第15回 まとめ（模擬試験②）					
第2回～第7回					
実際の試験問題を意識した練習問題 （リスニング・リーディング応用問題）					
第8回 模擬試験①					
第9回～第14回					
実際の試験問題を意識した練習問題 （リスニング・リーディング応用問題）					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
TOEIC BRIDGE (Advanced)			1. 試験（2回） 2. 出席状況及び受講態度		

授業のタイトル (科目名)		授業担当者		学科	年次
CALLイングリッシュ		福士 洋子		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
この授業では、英会話対話型パソコンソフト(Native World)を使って、パソコン上で繰り返し定型会話を練習したり、画面上のネイティブ・スピーカーと会話を繰り返し練習したりして様々な場面・状況に対応できる英会話力の養成を目指す。					
[授業の内容]					
1. 授業概要及びパソコンソフトの説明 2. パソコンソフトの操作法を学ぶ。 3. ～14. は場面ごとに次の内容を実施する。			④画面上のネイティブスピーカーとの対話練習 (2)応用ステージ ①語彙力増強のための単語・フレーズ発話練習 ②フリートーキング(自由会話)		
(1)練習ステージ ①単語やフレーズの発話練習 ②ビデオを視聴して、各場面の内容把握 ③対話文のディクテーション			15. まとめ		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
プリントを配布する。			1. 試験(口頭) 2. 小テスト(随時) 3. ソフト演習での達成度 4. 平常点		

授業のタイトル (科目名)		授業担当者		学科	年次
CALLイングリッシュ		福士 洋子		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
この授業では、英会話対話型パソコンソフト(Native World)を使って、パソコン上で繰り返し定型会話を練習したり、画面上のネイティブ・スピーカーと会話を繰り返し練習したりして様々な場面・状況に対応できる英会話力の養成を目指す。					
[授業の内容]					
1. 授業概要及びパソコンソフトの説明 2. パソコンソフトの操作法を学ぶ。 3. ～14. は場面ごとに次の内容を実施する。			④画面上のネイティブスピーカーとの対話練習 (2)応用ステージ ①語彙力増強のための単語・フレーズ発話練習 ②フリートーキング(自由会話)		
(1)練習ステージ ①単語やフレーズの発話練習 ②ビデオを視聴して、各場面の内容把握 ③対話文のディクテーション			15. まとめ		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
プリントを配布する。			1. 試験(口頭) 2. 小テスト(随時) 3. ソフト演習での達成度 4. 平常点		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
メディア英語演習		C. フィッツパトリック		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
NHK衛星第一放送の「News Watch」と「What's on Japan」から採択した日本社会や近隣諸国の主な出来事や、経済、文化、科学の最近の動向を伝えるニュースのDVD教材を使って、リスニング力を養成する。					
[授業の内容]					
第1回 オリエンテーション（授業概要説明を含む） 第2回～第14回 （各回、下記の内容で実施する。） （1）NHK衛星放送のニュース番組視聴 （2）新出語句の意味確認 （3）クローズワードパズル、内容要約問題 （4）「穴埋め問題」、ディクテーション 第15回 まとめ					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
衛星放送で学ぶ英語 2009年版 （テープ1、マニュアル1）			1. 試験（2回） 2. 平常点（授業態度、出席状況含む）		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
ビジネスイングリッシュ		成田 恵子		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
商業取引についての基本的な概念を学ぶ。特に、ビジネスで必要な各種文書を作成し、事務処理能力を高める。また、ビジネス場面で使われる電話対応、英会話なども取り入れ、実務能力も身につける。ビジネスに関連した検定取得のための模擬試験も実施する。					
[授業の内容]					
1. 貿易実務 2. ビジネスライティングの技法 3. 貿易取引の流れ①② 4. 貿易文書の作成 5. 各種ビジネス文書作成 6. 社内・社外文書作成 7. 通信システム 8. 企業組織 9. スケジュールリング 10. ファイリングシステム 11. メモランダム 12. ビジネス・オフィス英会話 13. 各種ビジネス検定模擬試験実施 14. まとめ 15. 試験					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
長野 格他「A Checkbook for Business Writing」南雲堂			①課題提出 ②試験 ③平常点（出席状況、授業態度）を総合的に評価する。		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
英語と文学		江口 真理		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	講義	2単位
〔授業のねらい・目標〕					
英米文学の基礎知識を学ぶことが主眼である。英米を代表する作家の作品を、原文に触れることにより鑑賞する。また、文学作品の背後にある時代背景を含め、批評的・思想的視点を取り入れながら学ぶ。教職課程（英語）履修の際の必修科目なので、英語関連の基礎科目としての教養的な要素を学ぶ。					
〔授業の内容〕					
1. Beowulf and Old English 2. G. Chaucer and Middle English 3. E. Spencer etc. 4. W. Shakespeare and Modern English 5. W. Shakespeare and Theaters 6. J. Donne, J. Milton, and A. Pope 7. S. Johnson, W. Blake, and H. Keats 8. W. Wordsworth and Romantic Poets 9. Lake District and English Literature			10. C. Dickens, A. Tennyson etc. 11. V. Wolf, T. S. Eliot 12. B. Franklin, W. Irving, E. A. Poe etc. 13. H. Melville, R. Frost, Lost Generation etc. 14. W. Faulkner, J. D. Sallinger, G. Schneider etc. 15. 試験		
〔使用テキスト・参考文献〕			〔単位認定の方法及び評価の観点〕		
『イギリス・アメリカ文学史－作者のこころ－』南雲堂。テキスト以外にも随時プリントを使用。			①試験 ②課題 ③平常点を総合的に評価する。		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
英語の仕組みと成り立ち		坂本 明裕		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	講義	2単位
〔授業のねらい・目標〕					
英語学全般から、特に興味深い分野を取り上げる。この授業では、英語を手段ではなく、学ぶ対象として位置付けて、英語やことばについての新たな見方を養うことを目標とする。前半は英語学についての基礎を、後半では英語の歴史的な側面を学ぶ。					
〔授業の内容〕					
第1回～第4回 1. 英語の仕組み ①形態論、統語論 ②音声学 ③語彙 ④言語と脳 第5回～第8回 2. 英語の現在 ①世界の中での英語 ②英語の使われている地域			第9回～第15回 3. 英語の歴史 英語の成り立ちと進化 ①古英語 ②中英語 ③現代英語 ④英語のこれから		
〔使用テキスト・参考文献〕			〔単位認定の方法及び評価の観点〕		
「英語総合研究」（研究社出版）			①テスト45% ②レポート45% ③出席10%		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
異文化コミュニケーション論		藤巻 啓森		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	講義	2年
[授業のねらい・目標]					
グローバル化の時代、多国籍、多文化という環境の中で何をどのようにすべきか。異なる文化のいかなる状況にも適応できるようにしたい。					
[授業の内容]					
第1回	異文化とは何か	第8回	中間発表		
第2回	自民族中心主義及び固定形式化	第9回	異文化の接触と理解		
第3回	文化の近似点と相違点	第10回	異文化の思考		
第4回	異文化の誤解と理解	第11回	異文化への憧れ		
第5回	ジェンダーアイデンティティ (その1)	第12回	異文化の交渉力		
第6回	ジェンダーアイデンティティ (その2)	第13回	異文化交渉の事例から理解 (その1)		
第7回	異文化コミュニケーション	第14回	異文化交渉の事例から理解 (その2)		
		第15回	最終報告		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
随時プリント配布			1. 平常点（出席率と授業態度）30% 2. レポート70%		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
子ども英語教材研究		成田恵子・福士洋子		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
この授業では、主に小学校英語活動で役立つ教材の選び方や作り方を学ぶ。また、小学校や幼稚園などでの英語活動実習のレッスン・プランに基づいて、オリジナル教材を製作し、それらを使った模擬授業を体験する。					
[授業の内容]					
第1回	授業概要の説明及び各種指導法の復習	第15回	まとめ		
第2回	学習意欲を高める環境作りとは他				
第3回	CRE・TPRを使った指導法他				
第4回～第14回	小学校英語活動実習とリンクした以下の内容を実施する。 ・教材の選定及びオリジナル教材の製作 ・教材を使った模擬授業				
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
児童英語教育を学ぶ人のために（世界思想社）必要に応じてプリントを配布する。			1. 出席状況 2. 模擬授業 3. オリジナル教材		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
子ども英語指導実践演習		成田 恵子		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	後期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
この授業では、小学校の「総合的な学習の時間」の中で、国際理解の学習の一環として行われている小学校英語活動の基礎的な理論と指導法を理解することを目標とする。					
[授業の内容]					
■小学校英語活動の目的 ①小学校英語活動の現状 ②③国際理解教育と英語教育 ④⑤小学校英語教育のありかた ■英語指導者の資質 ⑥教室運営 ⑦指導者の養成 ⑧児童・父兄との接し方			■カリキュラム・デザインの方法 ⑨⑩⑪レessonプランの立て方 ■小学校英語活動の相談⑫⑬ ■実践⑭ ■まとめ⑮		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
樋口忠彦「これからの小学校英語教育―理論と実践」研究社			①課題提出 ②試験 ③平常点（出席状況、授業態度）を総合的に評価する。		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
子ども英語指導実習Ⅰ		成田、福士、江口		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	15回	30時間	実習	2単位
[授業のねらい・目標]					
この授業では、講義で習得した早期英語教育の知識・技術を幼稚園、小学校の教育現場で実践する。					
[授業の内容]					
第1回 オリエンテーション（授業概要を含む） 第2回 実習の意義と目的 第3回～9回 実習事前指導 第10回～第13回 直前指導 第14回 事後指導 第15回 まとめ 実習先：幼稚園、小学校			※1 実習中は、実習日誌を記録する。 ※2 実習後に課題の提出をする。さらに実習日誌をもとにフィードバックを実施する。		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
配付資料、実習日誌			①課題提出 ②実習日誌 ③実習の評価を総合的に評価する。		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
子ども英語指導実習Ⅱ		成田、福士、江口		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	後期	15回	30時間	実習	2単位
[授業のねらい・目標]					
この授業では、講義で習得した早期英語教育の知識・技術を幼稚園、小学校の教育現場で実践する。前期開講の「子ども英語指導実習Ⅰ」での問題点や課題をふりかえり、実習体験でいっそう理解を深めることもねらいとする。					
[授業の内容]					
第1回 オリエンテーション（授業概要を含む）		※1 実習中は、実習日誌を記録する。 ※2 実習後に課題の提出をする。さらに実習日誌をもとにフィードバックを実施する。			
第2回 実習の意義と目的					
第3回～9回 実習事前指導					
第10回～第13回 直前指導					
第14回 事後指導					
第15回 まとめ					
実習先：幼稚園、小学校					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
配付資料、実習日誌			①課題提出 ②実習日誌 ③実習の評価を総合的に評価する。		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
プレゼンテーション演習		江口 真理		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
情報収集、情報の整理に始まり、プレゼンの構成、資料作成、発表の際の口頭表現・身体表現を中心に演習を行うことにより、実践的なプレゼンテーション能力の基礎を身につけることを目的とする。プレゼン演習は毎回フィードバックシートでの「ふりかえり」を行い、段階的にステップアップすることが目標である。					
[授業の内容]					
1. プレゼンテーションの構成		10. PowerPoint演習③アニメーションの設定他			
2. コミュニケーションの技法・表現技術演習		11. PowerPoint実践演習①			
3. 聞き手に好感をもってもらおうポイント		12. テーマ別プレゼン演習①情報収集・資料作成			
4. プレゼンテーション実践演習①スピーチ		13. テーマ別プレゼン演習①の発表 (PowerPoint)			
5. グループ・プレゼン演習①KJ法・ブレインストーミング		14. テーマ別プレゼン演習②情報収集・資料作成			
6. グループ・プレゼン②アレンライティング・マインドマップ		15. テーマ別プレゼン演習②の発表 (PowerPoint)			
7. グループプレゼン発表(模造紙)					
8. PowerPoint演習①スライド作成の基礎					
9. PowerPoint演習②画像の取り扱いの基礎					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
適宜プリントを使用する。			毎回の授業での課題を総合的に評価する。		

授業のタイトル (科目名)		授業担当者		学科	年次
Word演習上級		成田 恵子		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
1年次開講科目の情報リテラシー I で学んだWordの操作をさらに強化し、多種多様の文書を作成し、応用操作の技能を身につける。また、この授業では、Word処理技能検定2級の資格取得を目標とする。					
[授業の内容]					
1. 文書作成①② ・文書の作成および書式設定 2. 文書の設定③④ ・文字と段落の書式設定 3. ビジュアルコンテンツの操作⑤⑥ ・図の挿入、設定、編集⑦⑧ 4. 文章の編集⑨⑩ ・表、印刷 5. 文書の校閲⑪⑫ ・文書の移動、比較、変更履歴の管理 6. 文書の共有及び保護⑬ 7. 検定対策模擬試験⑭⑮					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
「マイクロソフト公式攻略問題集 Word2007」日経BPソフトプレス			①課題提出 ②期末試験 ③平常点 (出席状況) を総合的に評価する。		

授業のタイトル (科目名)		授業担当者		学科	年次
Excel演習上級		須藤 春菜		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
ビジネスシーンでよく用いられる表計算ソフト「Excel」の操作方法を学び、資格[Microsoft Certified Application Specialist]の取得を目指す。検定対策を通して、台帳・請求書・納品書の作成やデータ分析など、基本操作から応用操作までビジネスに活用できる技術を身につける。					
[授業の内容]					
■データを作成・操作する ・連続データの入力、入力データの制限 ・ワークシートの管理 等 ■データと内容の書式を設定する ・セルやワークシートへの書式設定 ・行や列の挿入、削除 等 ■数式を作成および編集する ・数式を使ったデータの集計・検索 ・数式を使ったデータの書式設定 等 ■データを視覚的に表示する ・グラフの作成、編集 ・画像・SmartArtの挿入、編集 等 ■データの共有とセキュリティの設定をする ・ワークシートの保護、適切な形式での保存 ・印刷の設定 等 ■その他 ・基礎知識 (第1回 入力方法、画面説明) ・期末試験 (第14回)、模擬試験					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
マイクロソフト公式 Microsoft Certified Application Specialist 攻略問題集			出席率・授業態度・期末試験・検定受験 上記4点の総合評価とする		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
企業と経営		藤巻 啓森		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
経済・経営環境の変化を見据えて、企業活動では何が問題となっているのか、それをどう明らかにし、解決していくかという経営学の基本的な考え方を、具体的な事例を用いながら考察し、社会人、企業人としての知識や教養を身に付ける。					
[授業の内容]					
第1回 企業とは何か、経営とは何か		第10回 日本の経営			
第2回 経営者の役割		第11回 経営の国際化			
第3回 経営組織		第12回 経営の再構築			
第4回 労務管理		第13回 企業に関する法律			
第5回 生産管理		第14回 ビジネス文書の書き方			
第6回 マーケティング 1		第15回 まとめ			
第7回 マーケティング 2					
第8回 財務管理					
第9回 競争戦略					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
藤巻啓森編『企業と経営』 2008年7月 春啓社版			1. 出席率及び授業態度（30％） 2. レポート （70％）		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
教育課程・特別活動		田中 儀助		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
1. 解説「総則編」を基にして、中学校教育課程の特色と重点を理解する。 2. 解説「特別活動編」を基にして、中学校特別活動各領域の特質や役割を理解する。					
[授業の内容]					
1. 教育課程の概念		9. 日本における特別活動の変遷			
2. 教育課程に関わる理論と変遷		10. 特別活動編、目標と基本的性格			
3. 総則編、学習指導要領改訂のねらい		11. 特別活動編、学級活動の特質と活動内容			
4. 総則編、教育課程の基準、編成の一般方針		12. 特別活動編、学級活動の授業の進め方			
5. 総則編、総合的な学習の時間		13. 特別活動編、生徒会活動の特質と活動内容			
6. 総則編、教育課程実施上の配慮事項		14. 特別活動編、学校行事の特質と活動内容			
7. 青森市内中学校の教育課程の実施と評価		15. まとめ			
8. 特別活動の今日的意義					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
中学校学習指導要領解説 総則編、特別活動編			出席、授業態度、試験、レポート		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
英語科教育法		江口 真理		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
英語教員として必要な基礎知識と、英語を取り巻く環境や具体的な授業法・指導法について学ぶ。また、理論を学ぶだけではなく2年次の教育実習に備え、教室で授業を行うイメージができるように実践に結びつための指導法、指導技術などの基礎を学ぶ。					
[授業の内容]					
1. 英語の国際化と日本の英語教育・教育目的 2. 学習指導要領（中学校）・小学校英語活動 3. 社会言語学と英語教育 4. 第二言語習得と英語教育 5. 代表的な教授法 6. 中学校英語教育の展開 7. コミュニケーション能力の育成 8. リスニング・スピーキングの指導 9. リーディング・ライティングの指導 10. 測定と評価・教室運営 11. 教材研究・コンピュータと英語教育 12. ～15. 模擬授業・教育実習に向けて					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
『あたらしい英語科教育法』（学文社） 『新学習指導要領解説』（開隆堂出版）			レポート・模擬授業、平常点を総合的に評価する。		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
道徳教育		佐藤 康子		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	7回	15時間	講義	1単位
[授業のねらい・目標]					
学校における道徳教育及び道徳の時間の目標や内容、具体的な指導場面とその特質を理解するとともに、学習指導案を作成し模擬授業を行う。					
[授業の内容]					
1 道徳と道徳教育 2 道徳教育の変遷 3 道徳教育と道徳の時間の指導 4 道徳性とその発達 5 道徳の時間の指導案の作成 6 模擬授業とその考察 7 道徳教育と家庭・地域					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
自作プリント			指導案作成、模擬授業、レポート		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
生徒指導・進路指導		佐藤 康子		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
生徒指導・進路指導の目的や内容について理解するとともに、具体的な方法や展開について学ぶ。					
[授業の内容]					
1	生徒指導の意義と課題	10	家庭・関係機関との連携		
2	生徒指導と教育課程	11	進路指導とキャリア教育		
3	生徒指導の組織と計画	12	進路指導の目的と内容		
4	学級経営と生徒指導	13	進路指導の全体計画と諸計画		
5	生徒理解ということ	14	進路指導の展開		
6	生徒指導の方法 1	15	まとめ		
7	生徒指導の方法 2				
8	問題行動の理解と指導法				
9	教育相談の進め方				
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
プリント			レポート、指導案、ロールプレー		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
教育相談の基礎（カウンセリングを含む）		佐藤 勝男		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
中学校の教諭として、また、自分の人生に生かすための教育相談の理論、発想、態度、技法を学ぶ。					
[授業の内容]					
1	教育相談入門の心得	10	生徒指導の原理		
2	教育相談の五大原理	11	集団規範設定の原理		
3	現象学 環境変容 事実への対応	12	教師の自己陶冶の着眼点		
4	グループエンカウンター	13	自己開示能力、生徒理解能力		
5	「直す」から育てるカウンセリングへ	14	いじめや不登校への対応		
6	三つの学校カウンセリング	15	まとめの小テスト		
7	学校カウンセリング研修会				
8	カウンセリング運営上の課題				
9	教育相談と生徒指導				
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
國分康孝著「学校カウンセリングの基本問題」誠信書房			授業態度、出欠回数、まとめの小テスト		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
中学校教育実習		田中、佐藤康、大澤、江口		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	通年	15回	150時間	実習	5単位
[授業のねらい・目標]					
1, 事前指導、教育実習、事後指導を通して、教職の意義、役割、職務内容を具体的に理解するとともに自己の適性を判断する。					
[授業の内容]					
1, 事前指導			3, 事後指導		
① 教育実習の意義と目的			① 実習反省会 その1 個人発表		
② 教育実習の心得			② 実習反省会 その2 集団討議		
③ 教育実習の内容と方法			③ 講話 これからの教師にもとめられるもの		
④ 青森市内中学校授業参観			④ 講話 社会人としてどう生きるか		
⑤ 実習日誌の記述、実習課題の明確化			⑤ 卒業生講話		
2, 教育実習（3週間）			4, 教育実習総括		
① 学級経営、英語、道徳の授業、生徒指導、学級事務、部活動等について実体験する。					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
			出席、授業態度、実施校の評価 研究授業の評価		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
介護等体験実習		江口真理・田中儀助		子ども学科 子ども英語専攻	—
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	1年後期 ～2年前期	30回	60時間	実習	2単位
[授業のねらい・目標]					
社会福祉施設や特別支援学校などの現場において福祉サービス等の利用者とかかわる機会を持ち、各種現場における援助のあり方について体験を通して理解し、社会的な視野を広げ、教職を目指す者としての糧とする。					
[授業の内容]					
1年次前期に社会福祉施設で5日間、2年次前期に特別支援学校での2日間の体験実習を行う。			②実習先における事前のオリエンテーション		
体験内容はそれぞれの実習先により多少異なるが講話、観察、介護、援助、交流参加などの形態が中心となる。具体的な体験内容は、体験実習期間のプログラムに沿って行われる。			③実習体験において、以下のことを学ぶ。		
			・施設・機関の役割や機能の把握 ・利用者の理解と援助内容・方法の理解		
①体験実習先についての事前の理解			④実習日誌の記入及び指導を受ける。		
			⑤実習終了後、実習レポートの作成		
			⑥日誌・レポートをもとにした反省会への参加		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
『よくわかる社会福祉施設』全国社会福祉協議会			日誌・レポートおよび反省会における報告等の総合評価		